

淡邦ニ小説家。明治二十一年七月、千七百廣島縣生れ（二六六
一）。明治四十五年錦城中學校中退。新聞記者、會社員など。大正十
五年雜誌『大衆文藝』に執筆し、長谷川伸、土師清一等と親交。昭和
十二年ペン部隊員、十六年海軍報道班員として従軍。戦後、二十九年以
降十八年間、互つて『白蓮大聖人』全十五巻を出版。『二六六會、新鷹
會同人。

著書『勤王小説名作集』（合著・大橋進）編、昭和十五年十一月六日
博文館『名作文庫』、『艇駕籠』（昭和十七年六月五日興川書
房）、『セレンブス海軍戦記』（昭和十九年六月五日興亞日本社『海軍
報道班員選書』）、『距離零』（昭和十九年六月二十日輝文堂書房）、
『霧行燈』（昭和二十一年四月二十五日エートピツク社）、『骨牌
捕縄』（昭和二十一年十月十日神奈川・静書房）、『花かゝるた』（内
題『花骨牌』）（昭和二十一年十一月二十日正書房）、『女嫌ひ平九郎』
（昭和二十八年十一月二十日同光社雑誌書房）等。